

「みんなこせい」

一宮市立西成小学校三年

小澤 奏仁

来年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックです。ぼくは昨年
からパラリンピックにきょう味を持っています。きっかけはきよ年の夏
休みのふくし作文です。ふくしについて調べた時にしょうがい者の人た
ちのオリンピックがある事を知りました。今年はラグビーワールドカッ
プがあるのでよくテレビでラグビーを見ました。ラグビーはタックルな
どぶつかり合うはげしいスポーツなので、しょうがいのある人たちがで
きるラグビーはあるのだろうか、と、ぎ間に思いインターネットで調べ
てみました。車いすでやるラグビーを、ウィルチェアーラグビーと言っ
てをぼくははじめて知りました。ウィルチェアーラグビーどくじのルー
ルがあります。十秒間ボールを持つてはいけないところはバスケットボ
ールにしています。また、ボールはラグビーボールではなくバレーボ
ールにたものを使います。ウィルチェアーラグビーは男女こん合のチ
ームもあります。タックルなどぶつかり合いもあるので、てんとうや車い
すのパンクもあります。パラリンピックの中でも一番はげしいスポ
ーツと言われています。ぼくは前回のリオパラリンピックでのウィル
チェアーラグビー日本代表のし合を見ました。キャプテンの池せん手、
エースの池ざきせん手を中心に、車いすでこわがらずにたおれても
また立ちむかうゆうかなすがたを見てあこがれました。とてもしょう
がいがあるようには見えませんでした。ぼくはチームでたたかうし
合を見て、ワクワクしました。リオパラリンピックでは日本は、は
じめて銅メダルをとり

ました。ぼくは来年の東京パラリンピックで金メダルを目ざしてほ
しいと思います。でもそのためにはどのくらいのれん習をするの
だろうと思
いました。ぼくは夏休みに、にが手なさか上りのれん習をして
います。ぼくは手足が動くのに、できないとすぐ思っ
てしま
います。けれど手足が自由なせん手もあきらめず
にれん習して世界一を目ざして
います。ぼくも公園でかた足かた手を使わずにキャッチ
ボールをして
みました。が、うまくなげ
る事もキャッチもできません
でした。本当にたくさんのれん習がひつ
ようだと分かりました。ぼくも
できないとすぐあきらめず、なんでも
チャレンジしていこうと思
います。ウィルチェアーラグビーのせん手
から、ぼくはゆう気もら
いました。せん手たちは手や足が自由な
だけで、ぼくはそれはこせい
だと思
います。顔や体はみんなちがって
当たり前で、がんばっている
人はみんなかっこいいと思
います。ぼくのこせいはぼく
のたから物で、みんなそれ
ぞれたから物を持っています。
くらべたりせず、みんな
かかやけるように、こせ
いを生かし、みとめ合
い、たすけ合えるチ
ームメイトになってい
きたいです。そのため
にぼくはいろんな人
たちと会って話
がしたいです。

